

平成29年度 第1回山口県県民活動審議会

会 議 資 料

資料1	平成29年版県民活動白書（案）について……………	1
資料2	平成29年度県民活動促進関連事業について……………	6
資料3	意見交換テーマ……………	8

【テーマ1】

「やまぐちボランティア・チャレンジデー」を活かした
県民活動の裾野拡大に向けた取組について

【テーマ2】

ソーシャルビジネスを活用した地域課題解決に向けた取組について

<別添資料>

- ・平成29年版山口県県民活動白書（案）
- ・やまぐちボランティア・チャレンジデー チラシ（1枚）
- ・維新の志士の足跡を巡るボラチャレ・ウォーク チラシ（1枚）
- ・山口県ぶちええソーシャルビジネスプランコンテスト
～ぶちーCONやまぐち2017～ 関係チラシ（2枚）

平成 29 年版 県民活動白書（案）について

山口県県民活動促進条例第 14 条（年次報告）の規定により、本県の県民活動の促進の状況及び県民活動に関する施策について、毎年、県議会に報告し、公表するものであり、その概要等は次のとおり。

I 今年度のポイント

- ・白書の作成に当たり県民活動の現状と課題を把握するため、毎年度実施しているアンケート調査等の結果と、県、市町、関係団体の取組をとりまとめて掲載
- ・新たに調査した、中心的な活動メンバーの状況や、ボランティアの募集状況、ソーシャル・ビジネスへの関心と県に期待する支援策を掲載

II 構成

第 1 部 県民活動の現状と課題

- ・「県民活動への参加状況」をはじめ、「県民活動団体の活動状況」や「県民活動支援拠点（機関）の状況」、「NPO 法人の認証・認定状況」について、調査データを分析して掲載

第 2 部 平成 28 年度における県民活動関連施策（実績）

- ・県、山口きらめき財団及び県民活動支援センターの平成 28 年度県民活動関連施策の実績について、事業の概要をわかりやすく一覧にまとめ、主な事業については抜粋して掲載

第 3 部 平成 29 年度における県民活動関連施策（計画）

- ・県、山口きらめき財団及び県民活動支援センターの平成 29 年度県民活動関連施策の計画について、第 2 部と同様に掲載

第 4 部 市町における取組

- ・市町における条例・計画の状況や県民活動の概況・取組方針等について掲載

（参考）県民活動に関するあゆみ掲載

Ⅲ 各部の概要

第1部 県民活動の現状と課題

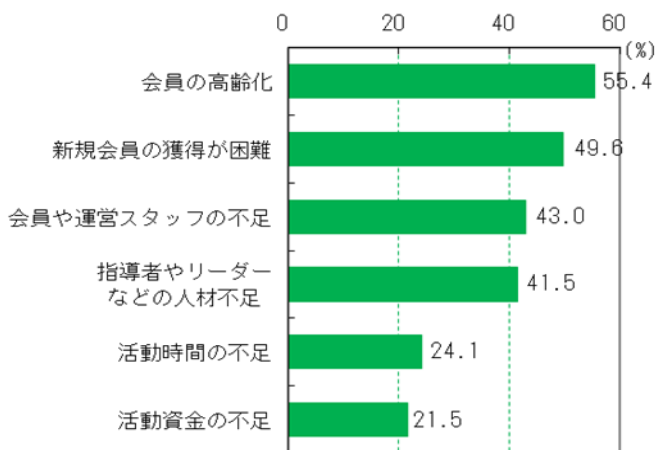
- NPO法人数は、431法人（対前年度比1法人増）と、解散法人数の影響等から横ばい傾向
- 県・市民活動支援センターへの登録団体数は、2,313団体（対前年度比22団体減）となっており、若干の減少

【県民活動団体数の推移】

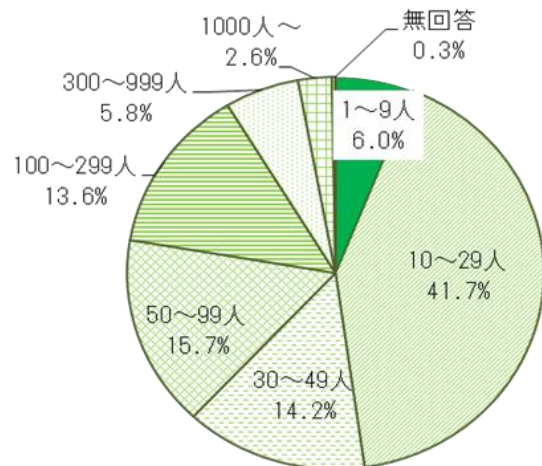
区 分	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
NPO法人	412	417	427	430	431
県・市民活動支援センター登録団体	2,338	2,359	2,328	2,335	2,313

- 県民活動団体の課題は、「会員の高齢化」等の人材に関することが中心
- 会員数が30人未満の団体が約半数
- 年間支出総額50万円未満の団体が約4割
- 寄附金収入がある団体の8割以上が50万円未満（団体の5割は寄附金収入なし）

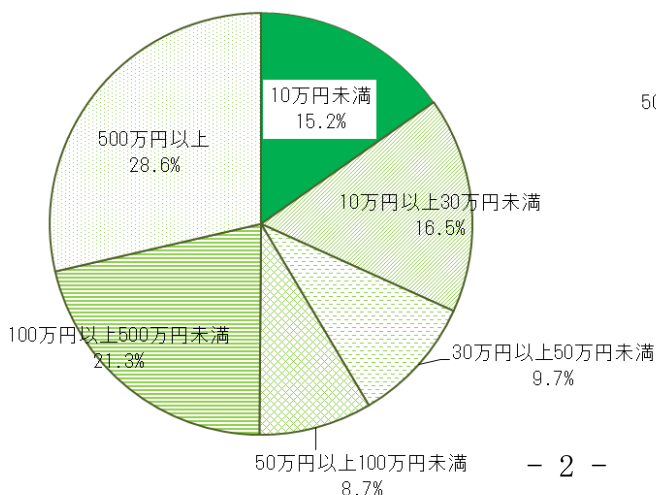
【県民活動団体の課題】



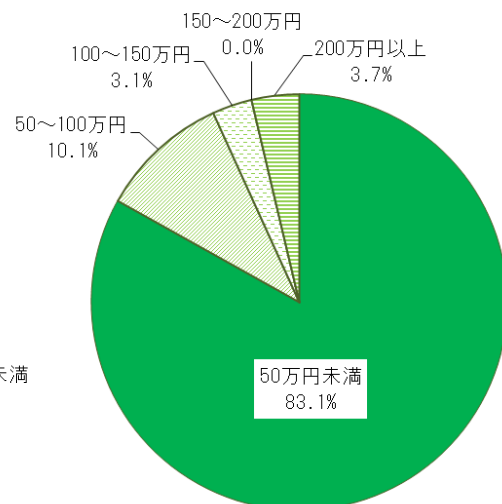
【会 員 数】



【支 出 総 額】

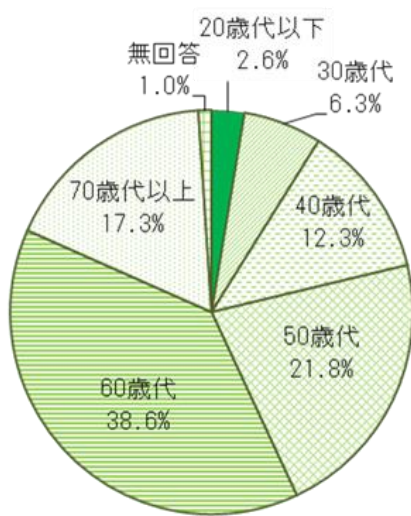


【寄附金収入額】

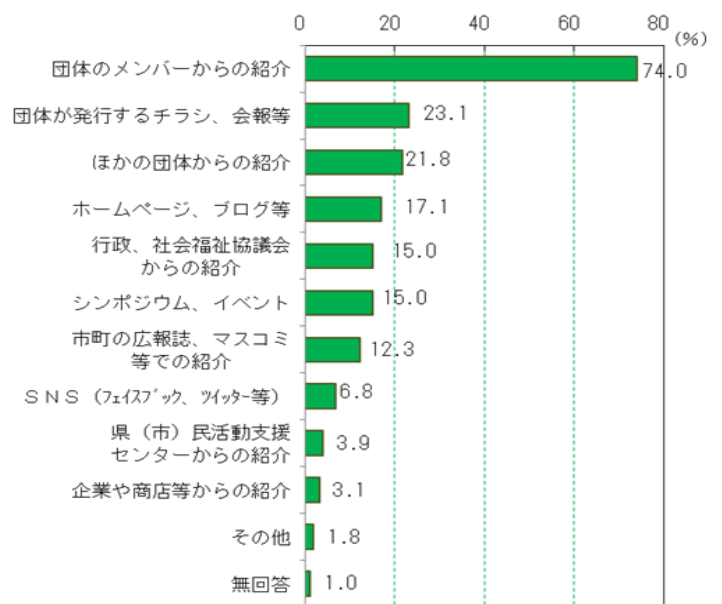


- 団体の中心的な活動メンバーの年代は、「60歳代」が最も多く、次いで「50歳代」、「70歳代」の順となっており、7割以上の団体の活動主体は50歳代以上
- 団体において中心となって活動しているメンバーが活動に参加したきっかけは、「団体のメンバーからの紹介」が約4分の3を占めている
- ボランティアの募集については、団体の約3分の1が募集した経験があり、募集した団体の7割以上が十分なボランティアを集められていない
- ソーシャル・ビジネスを実施中、又は実施予定との回答は約1割にとどまっている

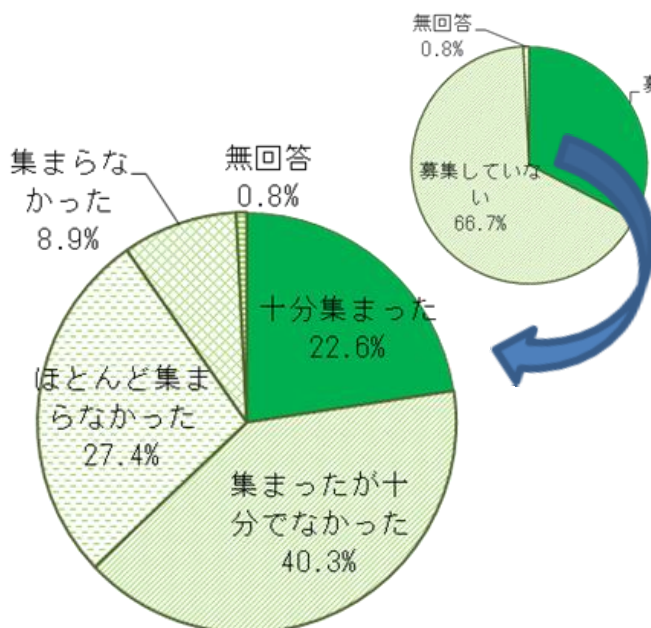
【中心的な活動メンバーの年代】



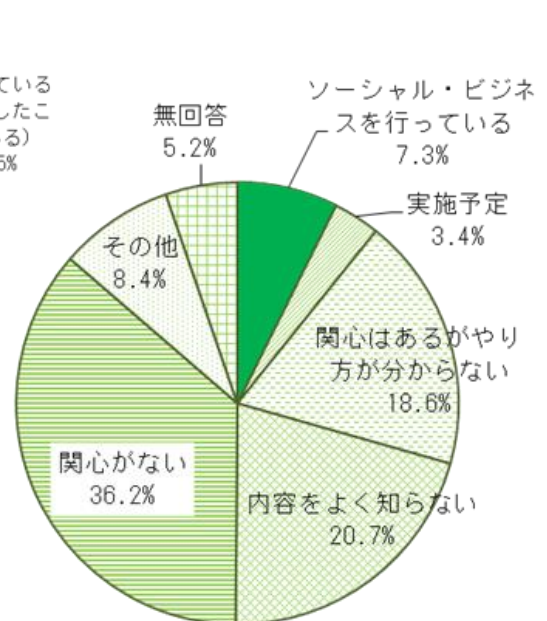
【活動のきっかけ】



【ボランティアの募集結果】



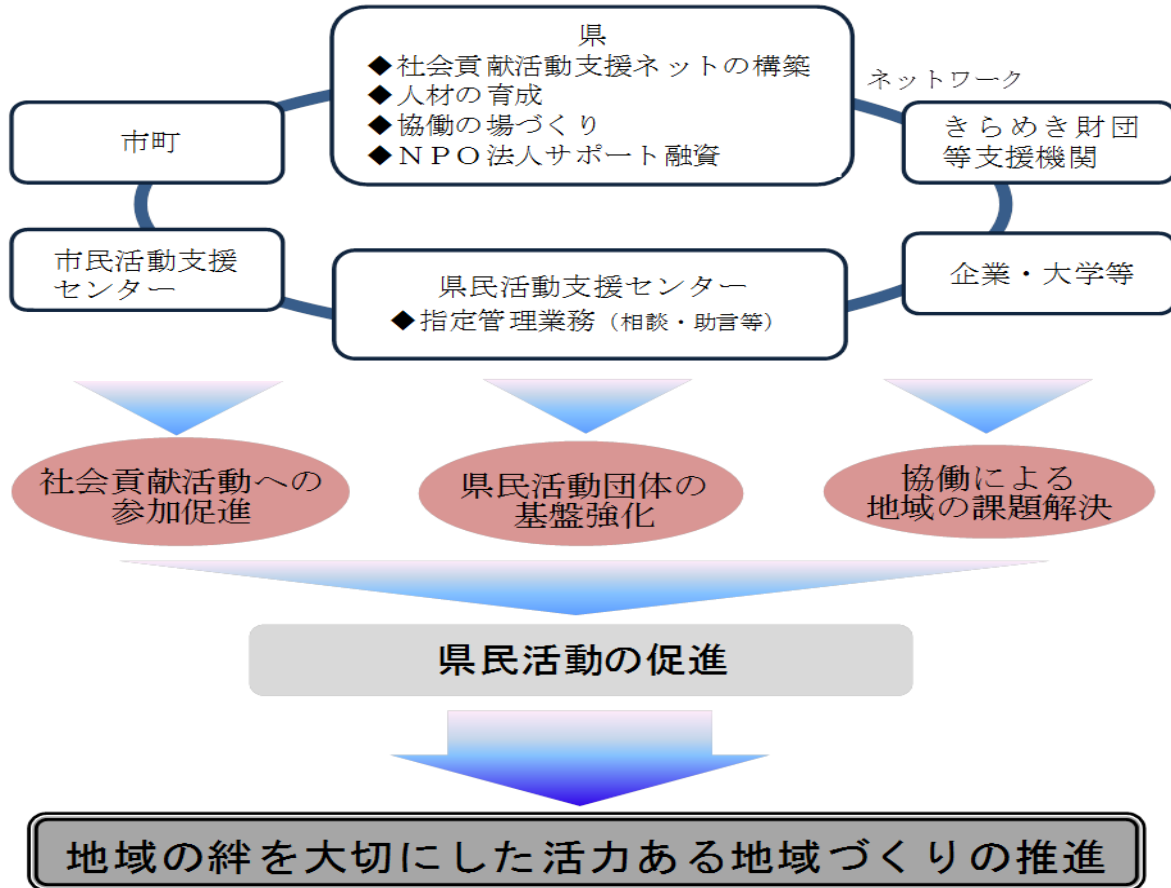
【ソーシャルビジネスへの関心】



第2部 平成28年度における県民活動関連施策(実績)

[平成28年度の主要な取組]

県民活動支援センターや山口きらめき財団等と連携し、県民活動の普及啓発や活動基盤の強化、協働の推進等の事業を実施し、県民活動の一層の活発化を図った。



[基本方針別事業例]

基本方針1：県民活動への理解と参加の促進

シニアも応援！子育てサポーター事業	高齢者や子育て経験者等を「子育てサポーター」として登録し、保育所や地域の子育て支援活動における活用を促進 [H28実績]子育てサポーター登録者数：40人
-------------------	---

基本方針2：県民活動団体の自立・持続的発展に向けた環境づくり

ソーシャルビジネス創出支援事業	交流会や支援セミナー、巡回相談会の開催、専門家派遣等による県民活動団体等に対するソーシャルビジネスの事業化支援 [H28実績]交流会・支援セミナー等の開催：5回、専門家派遣：15回
-----------------	---

基本方針3：県民活動団体と多様な主体との協働の推進

動物愛護管理地域活動促進事業	市町、獣医師会、動物愛護団体等と連携し、県内各地域における「地域猫活動」の取組の拡大を図るとともに、「里親探し掲示板」を人目に触れる場所に設置するなど、犬猫の譲渡を促進 [H28実績]地域猫活動：5市12地域、里親探し掲示板：8か所
----------------	---

基本方針4：「人材力」「県民力」の向上に向けた県民活動の一層の促進

やまぐち元気生活圏形成加速化事業	「地域の夢プラン」を作成した地域のうち、市町が「やまぐち元気生活圏」づくりに取り組む圏域を設定した地域を県が重点的に支援することにより、先進的なモデル地域を創造 [H28実績]モデル地域：3市1町5地域
------------------	--

第3部 平成29年度における県民活動関連施策(計画)

[基本方針別事業例]

基本方針1：県民活動への理解と参加の促進

新 県民活動チャレンジデー事業	来年迎える「明治150年」を契機に、さらに県民活動の活性化を図るため、7月の毎週日曜日に全市町で県民が様々なボランティア活動に取り組む「やまぐちボランティア・チャレンジデー」を開催し、県民活動の機運醸成と裾野拡大を推進
-----------------	---

基本方針2：県民活動団体の自立・持続的発展に向けた環境づくり

拡 ソーシャルビジネス創出支援事業	交流会や支援セミナー、巡回相談会の開催、専門家派遣等に加え、新たに、ビジネスコンテストの開催と立ち上げ支援金の助成を通じたモデル事業の構築による、県民活動団体等に対するソーシャルビジネスの事業化支援
-------------------	---

基本方針3：県民活動団体と多様な主体との協働の推進

県民活動支援事業	地域の支援拠点に対する支援力強化講座の開催や中核的人材育成研修の実施、地域コーディネーターの育成等を通じ、協働推進の環境づくりを推進
----------	--

基本方針4：「人材力」「県民力」の向上に向けた県民活動の一層の促進

新 都市緑化普及促進事業	山口ゆめ花博を契機とした県民参加による緑化活動の促進
--------------	----------------------------

第4部 市町における取組

- 市町における県民活動に関する条例・計画の状況や活動概況、取組方針等を掲載
- 県・市民活動支援センター等の県民活動支援拠点（機関）の取組を掲載

平成 29 年度県民活動促進関連事業について

県民活動支援センターや山口きらめき財団等と連携し、県民活動の普及啓発や活動基盤の強化、協働の推進等の事業を実施し、県民活動の一層の活発化を図る。

1 新県民活動チャレンジデー事業（予算額：3,000 千円）

① 県民活動チャレンジデーの実施

「山口ゆめ花博」等の開催により県づくり・地域づくりを加速する契機となる「明治 150 年」に向け、県民活動への参加のきっかけとして、全市町をあげてボランティア活動に取り組む「やまぐちボランティア・チャレンジデー」を開催し、県民活動の機運醸成と裾野の拡大を図る。

〔開催日〕 7 月の日曜日（各市町が定めた日）

※毎週、シンボルフラッグをリレーしていき、全県で一体的に実施する。

〔参加者〕 個人、グループ（県民活動団体、自治会、企業、学校等）

② 県民活動参加促進セミナーの開催

全市町への市民活動支援センター設置に向け、県民活動への参加促進・気運醸成のためのセミナーを未設置市町で実施

〔開催地〕 美祢市、山陽小野田市、阿武町

2 拡ソーシャルビジネス創出支援事業（予算額：15,000 千円）

① モデル事業の構築

ソーシャルビジネスの全県への普及のため、ビジネスプランコンテスト（山口県ぶちええソーシャルビジネスプランコンテスト）を開催し、モデル事業を構築する。

・ビジネスプランコンテストコンテストの開催

【募集開始】 5 月 15 日（月）

【開催日】 8 月 5 日（土）

【対象者】 概ね 1 年以内に創業を目指す者

・立ち上げ支援金の助成（コンテスト受賞者 5 者）

【支援金】 グランプリ 150 万円（1）、準グランプリ 100 万円（2）、奨励賞 75 万円（2）

【補助率】 1 / 2 以内

・受賞者に対する専門家派遣による伴走支援

② 専門家による相談体制の整備

専門家（中小企業診断士、社会保険労務士等）派遣の実施、巡回相談会の開催

③ 創業希望者の掘り起こし、ノウハウの習得支援

交流会や支援セミナーの開催

3 県民活動支援事業（予算額：2,200 千円）

① 県民活動団体中核的人材育成研修の実施

県民活動団体を担う中核的人材を育成するため、組織運営、経営管理、ファンドレイズ等のマネジメント研修を実施

② 県民活動団体協働促進（地域コーディネーター育成研修の実施と協働の場づくり）

県民活動団体と多様な主体との協働による取組を促進するため、地域コーディネーターの育成研修等を実施

③ 県民活動の地域支援拠点支援力強化研修の実施

地域の支援拠点である市民活動支援センター、市町及び中間支援団体等の支援力を強化する研修等を実施

4 NPO法人サポート融資事業（予算額：32,773 千円）

[資金種類] 設備資金、運転資金、つなぎ資金

[新規融資枠] 1 億円 [融資限度額] 5 百万円/件 [融資利率] 1.8%

5 県民活動支援センター管理運営事業（予算額：25,225 千円）

[事業内容] ・県民活動に関する相談・助言、情報の収集・提供、研修、交流促進等
・多様な主体との協働推進のためのコーディネート

[指定管理者] NPO法人やまぐち県民ネット21

6 県民活動パワーアップ事業（事業費：1,800 千円）

県、県民活動支援センター及び山口きらめき財団で構成する実行委員会が実施

① 県民活動促進キャンペーンの実施

県民活動促進期間（10月1日～11月30日）を中心に、県民活動の拡がりと発展を目的とするキャンペーンを実施

- ・普及啓発用ポスターの作成・配布
- ・新聞による「チャレンジやまぐち！地域貢献賞」受賞団体の活動紹介
- ・寄付文化醸成セミナーの実施

② 県民活動推進フォーラムの開催

県民活動が直面する課題をテーマとして、県民活動の参加促進及び活発化に向けたフォーラムを開催

[開催時期] 10月17日（火）

[開催場所] 秋吉台国際芸術村

※きらめきジョイントフォーラム（山口きらめき財団の「きらめき交流フェスタ」との合同開催イベント）として開催

③ チャレンジやまぐち！地域貢献賞の授与

特に優れた活動を行う県民活動団体・事業者を顕彰し、その活動を広く紹介

[表彰時期] 10月17日（火） ※きらめきジョイントフォーラムの中で実施

[開催場所] 秋吉台国際芸術村

[表彰団体] 5団体

意見交換テーマ

テーマ 1	「やまぐちボランティア・チャレンジデー」を活かした、県民活動の裾野拡大に向けた取組について
<p>○ 平成27年度「県政世論調査」の結果によると、約4割が県民活動へ参加したことがないという結果となっています。</p> <p>○ このため、県では、参加の経験がない方々にも、関心を持つきっかけとなるよう、今年度、新たな取組として、「やまぐちボランティア・チャレンジデー」を実施し、7月の毎週日曜日、県内の全市町で、多くの県民や自治会、団体、企業等に様々なボランティア活動に取り組んでいただきました。</p> <p>○ 県としては、このような取組を一過性のものとせず、継続的にボランティア人材を開拓し、県民活動の裾野の拡大を図る必要があると考えていますが、今後どのような取組が必要でしょうか。</p>	

<ポイント> ・事業の継続的な実施 ・開催日、期間 ・効果的PR
 ・若年層への訴求 ・山口ゆめ花博を契機とする活性化
 ・個人の取組を促す仕組みづくり 等

テーマ 2	ソーシャルビジネスを活用した地域課題解決に向けた取組について
<p>○ 地域社会においては、環境保護、高齢者・障がい者の介護・福祉から、子育て支援、まちづくり、観光等に至るまで、多種多様な社会課題が顕在化しつつあります。</p> <p>○ このような地域社会の課題解決に向けて、ビジネスの手法を活用して取り組むのが、ソーシャルビジネスであり、県民活動団体の財政基盤を強化し、事業の継続的・安定的実施を図る上で有効な手段です。</p> <p>○ こうしたことから、県では、昨年度より、ソーシャルビジネスの促進のため、セミナーを開催し、今年度は、県内における先駆的モデルを構築し、ソーシャルビジネスを全県に普及させていくため、「山口県ぶちええソーシャルビジネスプランコンテスト」を開催しました。</p> <p>○ コンテストの授賞者5者には、事業化のための支援金を交付するほか、専門家による無料相談の実施などの「伴走型支援」を行い、事業の立ち上げを支援することとしています。</p> <p>○ 今後、ソーシャルビジネスを全県に波及させていくためには、どのような取組が必要でしょうか。</p>	

<ポイント> ・事業の継続的な実施 ・多様な分野への対応
 ・きめ細かいフォロー（関係機関の連携等） 等

「やまぐちボランティア・チャレンジデー」について

1 概要

【開催日】7月の日曜日（各市町が定めた日）

※毎週、シンボルフラッグをリレーしていき、全県で一体的に実施

【実施主体】県・市町

【参加者】県民、自治会、団体、企業等

【対象活動】無償のボランティア活動

2 全体日程

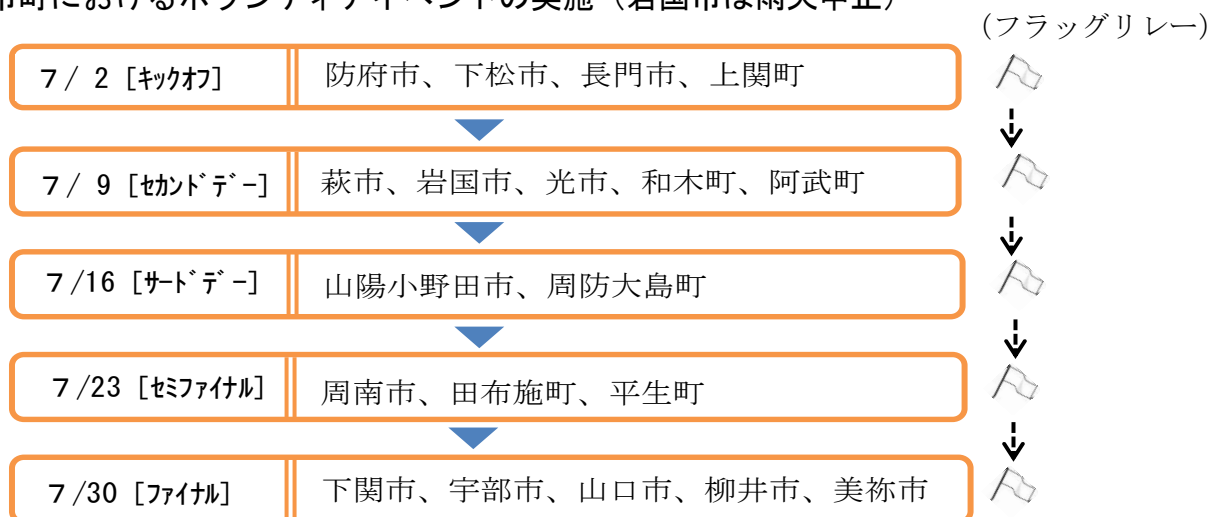
(1) キックオフ・セレモニー(7/2)、ファイナル・セレモニー(7/30)の実施

知事によるシンボルフラッグの手交等セレモニーを実施するほか、知事も地元住民とともにボランティア活動に参加

○キックオフ・セレモニー【長門市】：長門市海岸清掃（二位ノ浜海水浴場）

○ファイナル・セレモニー【山口市】：維新の志士の足跡を巡るボラチャレ・ウォーク

(2) 市町におけるボランティアイベントの実施（岩国市は雨天中止）



3 参加実績

市町ボランティアイベントを加え、「あいかさねっと」やフェイスブックを活用した募集情報の発信や「企業ボランティア活動促進モデル事業所」等への呼びかけを行い、数万人が参加した。（参加者数は精査中）

4 今後の対応

○チャレンジデーへの参加者等によるボランティア隊を結成

→ 「山口ゆめ花博」のPRイベントのサポートや環境美化等の取組を実施

○「やまぐちボランティア・チャレンジデー」の取組状況を展示するコーナー

「ボラチャレ・フットマーク」を設置

【場 所】県庁 本庁舎1階 エントランスホール

【展示期間】8月30日（水）～9月15日（金）※展示初日にセレモニー実施

「山口県ぶちええソーシャルビジネスプランコンテスト ～ぶち－CONやまぐち2017～」について

1 概要

県内でのソーシャルビジネスの普及・発展に向け、その先駆的モデルの構築を目的に開催

2 応募・審査状況

【募集期間】5月15日（月）～6月30日（金）

【応募総数】36者

【一次審査通過者】10者（うち、1者辞退）

3 コンテスト（二次審査）の結果

（1）開催状況

【開催日】平成29年8月5日（土）9時30分～17時

【実施場所】県立図書館レクチャールーム

【実施内容】1次審査通過者9名の公開プレゼンテーションによる審査

【審査内容】社会的課題の解決、事業の継続性及び新規性、プレゼンテーション力

【関連行事】講演会及び交流会

（2）受賞者

賞	団体名・氏名(所在地)	事業プラン名
グランプリ	<small>だいでうりゆうじ</small> 大道竜士(防府市)	藍等の地域資源を活かした天然染料の開発によるファッションビジネスの創出
準グランプリ	<small>かいこうしゃ</small> 株式会社海耕舎 (下関市)	ムラサキウニ獲り等の体験型プログラム実施による獲る漁業から魅せる漁業への転換
準グランプリ	コミュカフェ 和 咲楽 <small>なかたにあっこ</small> 中谷淳子 (宇部市)	放課後留守家庭児童が高齢者と交流しながら学べる食事付き放課後寺子屋の実施
奨励賞	<small>すえながみつまさ</small> 末永光正(山口市)	農家民宿や農業体験、移動型レストラン等の、交流を通じた田舎の豊かさを提供する事業
奨励賞	虹とおひさま <small>かわまひろこ</small> 川間弘子(防府市)	発達障がい児等が短時間で効果的に学べる学習支援グッズと指導法の開発・販売

4 今後の対応

○ 立ち上げ支援金の助成（コンテスト受賞者5者）

【支援金】グランプリ 150万円（1）、準グランプリ 100万円（2）、奨励賞 75万円（2）

【補助率】1／2以内

○ 受賞者に対する専門家派遣による伴走支援

各受賞者に対して、ビジネスプランの事業立ち上げに向け、中小企業診断士や社会保険労務士等の専門家派遣による無料相談を実施。